

NEWSLETTER



University Library, University of Abertay Dundee

留学生のための英語による特別コースの設置を！

岐阜大学国際交流委員会委員長（岐阜大学長） **金城俊夫**

文部省は昭和56年以降、大学院に「外国人留学生のための英語による特別コース」を設置すべく施策を進めている。もう既に30の国立大学の大学院に、44のコースが開設され、実績を挙げている。

岐阜大学には現在308名の外国人留学生が学んでいるが、内206名(66.9%)は大学院生で占められている。本学の全大学院生に対する比率は14.5%で、博士課程の学生に限ってみると実に37.7%に相当している。

大学院に籍を置く留学生といえども、全員が専門の教育研究を進める上に必要な十分な日本語能力を有しているとは思えない。勿論、指導教官が個々に英語による指導を行いカバーしているとは思うが、スクーリングが必要な修士課程でどのような対応をしているか気にもなる。

私は、本誌の前号にも「留学生教育と研究指導の改善を」というテーマで書かせていただいたが、これからは

単に留学生の数を増やすということばかりではなく、その質をどう高めていくかという視点から考え直す必要があるのではないかと思う。

その改善の一環として、既に制度的に設置の可能性のある「英語による特別コース」を、本学大学院が誇りうる幾つかの専門分野で、しかも英語に堪能な教官が多くおられる分野を中心に開設したら如何だろうか。

このような「英語による特別コース」を設けることにより、留学生の理解をより深めることが出来、大学院教育の実を上げるばかりでなく、教官にとっても国際化時代の教育実践の場として有効に活用することができるのではないかと考える。

留学生に対しても支援が得られるこのようなプログラムを積極的に活用し、留学生に対する教育研究を特に質の面から向上させていきたいものである。

新交流協定大学の紹介

内蒙古農業大学のご紹介

農学部 教授 天谷孝夫

内蒙古農業大学は、中国内モンゴル自治区の首都である呼和浩特市にあり、前身が内蒙古農牧学院（内蒙古畜牧医学院）と内蒙古林学院である。内蒙古畜牧医学院の創建は、中華人民共和国が建国された1949年から3年後の1952年で、1960年に内蒙古農牧学院へと名称変更され、また内蒙古農牧学院は1958年に創建された。そして、1999年4月12日に両校が統合し、内蒙古農業大学となった。



同校は博士学位授与権を有する総合大学で、8学部とその他研究所から成る。在籍学生数は8560人、その内博士課程生は22人、

修士課程生は202人である。また、現職員数は2359人で、内訳は教授130人、副教授419人、講師779人、助手284人、その他人員747人を数え、統合により中国屈指の農林工学系大学に成長した。活発な研究活動を行うと共に、卒業生は自治区全域の各界で指導的役割を果たしている。また、少数民族区内の大学として、学生及び教官共に30%前後のモンゴル族を主とする少数民族で占められているのも大きな特徴である。

両大学教官による相互訪問の実績が重ねられ、2000年8月8日内蒙古農業大学において金城学長と麻碩士校長とにより交流協定書の調印が行われた。内蒙古農業大学教官の留学や、本学部学生の留学等にみる交流も深化しつつあり、今後の更なる交流の進展は本学部の教育、研究に大きな効果を發揮するものと期待される。



交流協定大学 アバティ ダンディー大学 (英国)との研究交流について

バーチャルシステムラボラトリー施設長 (工学部 教授)

小鹿丈夫

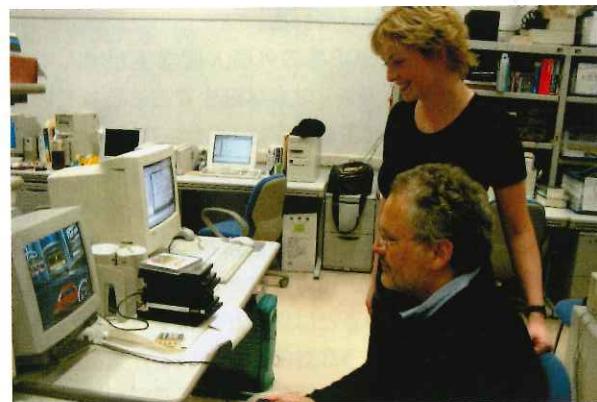
スコットランドのダンディー市に在る交流協定大学アバティ ダンディー大学との関係は、平成8年に岐阜大学関係者が開催した第2回国際会議“VSMM'96岐阜”で来岐した同大学のジョン サザーランド先生との偶然の出会いにまで遡る。これが縁となり、同年の12月から3ヶ月間岐阜大学バーチャル システム ラボラトリー (VSL) で外国人研究者としてVRの共同研究をし、素晴らしい研究成果を挙げることができた。

これがアバティ ダンディー大学でも大いに認められ、スコットランド地方にはコンピュータゲームソフト関連会社が多数集積している関係上、ジョン先生を中心に、ゲームソフトウェアとVRとを融合した“コンピュータゲームとVR”に関する学科を世界で初めて同大学に創設し、さらに、“コンピュータゲーム・仮想環境 国際センター (IC-CAVE)”を設立する等、今やイギリスでは最もアクティブな大学の一つと高く評価されるまでになっている。また、同大学には全英でも指折りの最先端

の（電子）図書館があり、エリザベス女王陛下がわざわざご訪問になられたことでも有名である。

なお、同大学は、ビジネス、計算機、科学・工学、および社会福祉・健康科学の4スクールから構成されており、世界20ヶ国以上からの留学生を含めて、4000名以上の学生・院生が在学している。

平成12年8月からも、同大学のジム ターカウスト講師がVSLの外国人研究者として4ヶ月間研究滞在しており、この間にも、同大IC-CAVEの心理学者ルーシー ジョイナーさんがゲームプレイ時の心理的解析のためVSLに6週間研究滞在する等、積極的な研究交流を行っている（写真）。



岐阜大学VSLにおけるゲーム心理の実験中のジム先生とルーシーさん

シドニー工科大学

留学生センター 教授 牟田おりゑ

シドニー工科大学（University of Technology, Sydney, 略称UTS）はシドニーの中心にあり、商学部、工学部、理学部、建築学部、教育学部、人文・社会科学部、法学部、数学・コンピューターサイエンス学部、看護学部と国際関係研究所などがあります。また、オーストラリア政府の共同研究センターのパートナーとして、テクノロジー産業に貢献している大学です。

UTSは国際化を重視し、国際学（外国語・外国文化・



社会・政治）との二重専攻を奨励しています。この二重専攻では、学士取得の条件として一年の外国留学を義務付け、15カ国の協定大学へ学生を送っています。

交換留学生としてUTSに行く場合の利点は、学部講義受講のための条件（TOEFL 575点）に満たない学生も受け入れ、学費免除該当及び単位取得科目（Australian Language and Culture Program）を設けていることです。これはオーストラリアで唯一のコースであり、学生交流の互換性を認識した画期的なプログラムです。このプログラムを1学期履修し、TOEFLのスコアを上げれば、2学期目に希望学部の授業が受けられますし、1年間履修・合格すれば、Diploma in Australian Language and Cultureが授与され、オーストラリアの大学院への入学資格の一つに該当します。



在外研究報告

ノーザン・ケンタッキー大学・

ユタ大学

教育学部 教授 寺島隆吉



1999年12月18から28日まで、国際交流委員会の助成金で岐阜大学との交流提携校であるユタ大学とノーザン・ケンタッキー大学を訪れる機会を得た。ここでは、字数制限の関係で、訪問のなかで気づいたエピソードをひとつだけ記し、読者の参考に供したい。

ユタ大学に着いた晩、当大学で日本語を教えているNさんに電話をした。すると、彼女は「学期の授業が終わつたばかりだから、今晚、クリスマス・パーティを兼ねて家でパーティーをするから、先生もいらっしゃいませんか。私のクラスの学生が中心です。」と言う。

学生たちと話していく興味深かつたのは、アメリカの学生のかなり多くが4年で卒業しないということだった。アメリカの経済は好況だと一般的には言われているが、学生たちは4年で卒業するだけの経済力を持たないので、働きながら学費を払っていると、どうしても4年で卒業できないというのである。アメリカでは「飛び級」が認

められていて、3年生で大学院に進級することも可能だが、それは一部の裕福な学生や奨学金を貰えた学生の話で、一般の学生はむしろ「5年で卒業」が普通になりつつあるという。

家庭が裕福な学生は有名私立高校に進学して学力をつけ、さらに「飛び級」があるから、大学では逆に安上がりで済むのに、貧困家庭の学生は教育環境が劣悪な公立学校に通わざるを得ないし、大学卒業に5年以上もかかる。そのうえ、教育も地方自治だから、貧困自治体の財源は困窮を極め、貧困地区の学生はパソコンはおろかテープ・レコーダーも十分にない学校で教育を受けざるを得ない。だから貧困地区からの大学進学率そのものが、まず低いのである。矛盾の悪循環である。日本も最近、地方自治が声高に言われ始めているが、財政的保障なしに地方自治だけが先行すると、教育も福祉も、貧乏な自治体と裕福な自治体とでは巨大な格差が生じる可能性がある。その意味で、アメリカの実態は日本の今後を暗示しているようで、不安を感じえなかつた。



外国人留学生からのメッセージ

Experienced Japanese culture

地域科学部 外国人特別聴講学生

Leslie Paterson

(サンディエゴ・州立大学)



Since coming from the land of fish tacos to the land of rice, I have experienced Japanese culture at its highest level in the Japanese countryside in Gifu. Since my major is Japanese, Gifu city's name is old-but not as old as many people from the United States would think. In the 1560s Gifu's original name was Inokuchi. At the same time period a warrior named Oda Nobunaga (1534-82) renamed it Gifu. Every October there is a festival to remember him. Gifu is not a very pretty town, but with time and patience, a student can find Gifu's rich history. During the summer months Gifu's famous river, Nagaragawa, has its Ukai fishing. A tradition that has started in the Toku-

gawa Era.

The Japanese language courses at Gifu University has been a blessing. Small classes and great senseis make class enjoyable. The more you learn the language, the easier to learn the history, culture, and tasty cuisine of Japan. I have been to Japan before as a traveler, but not as a student. I have enjoyed student life in Gifu and I have lived the Japanese way of life as much as possible. Wearing a yukata at night and eating Japanese food makes you feel you are a part of the culture. By all means, if one wants to learn the language, culture, and history, one must study and learn in the countryside rather than in a big city.



外国人留学生からのメッセージ

留学の意義

工学研究科 修士課程2年

肖 云翔

(ソウル産業大学)



21世紀は国際交流が世界中の人々にとって重要なになってくるだろう。そして、きっと国境を意識することなく、友人同志になって会話ができる、将来を語り合えるようになると思う。だから、そのためにも留学して、外国語を習得するということはとても意味のあることだと思う。

外国へ留学したら、長い期間自分の国に帰ることができない。そして、外国で生活する中で数多くの困難に直面しそれに挑戦しなければならない。過去に経験したことのないような問題もあるだろうし、言語習慣が異なることから誤解が生じることもある。限られた時間の中で勉強もしなければならず、様々な問題にも対処しなければならない。このように、留学生活は精神的にも厳しいものがあるが、全く違った社会に身を置くことで、せまい視点から、より広く物事を見ることができるようになり、人間的にも大きく成長できると思う。

しかし、留学生活は決してつらいだけの毎日ではない。楽しいこともたくさんある。最も楽しいことは、やはりいろいろな人と交流できることだろう。私にとって当た

り前の事が、他の人にとっては当たり前ではない。そんな発見をするのはとても楽しいし、お互いに影響を与え合って、外国の文化を理解して、消化していくたびに段々それが好きになっていく。私は、異なる社会の中でカルチャーショックを受けることにより、一つ一つ体得していく過程を楽しんでいる。

これは、一番大切で当たり前のことだが、外国に住むからには、まず第一に自分の健康に気をつけなければならない。健康に十分気をつけた上で、自分の目標をよく考えるべきだ。今、外国で生活しているという、貴重な機会を大切にしたいと思う。そして、外国人の考え方、文化、習慣をより深く理解するために、自分の考え方を柔軟に変えていけたら、留学の経験が人生にとってかけがいのない財産になると思う。



サンディエゴで1年を過ごして

教育学部 英語教育講座 4年 飯野裕子



私は、1年間サンディエゴ・ステイト大学で勉強していました。サンディエゴと言えば、真っ青な空と海、それとヤシの木が思い浮かびます。ロスから車で南へ2時間、メキシコとの国境の近くです。1、2月頃を除いて温かく、夏は湿度も低くてとても生活しやすい所です。雨が降ったのは1年のうち10回ほどでした。サンディエゴは位置的な理由もあって、とにかく多種多様な人種が見られます。アメリカのほかに韓国、台湾、インドネシア、イタリア、スイス、メキシコなど世界中の友達ができ、今でもメールで連絡を取っています。

この1年は私にとって大きな転換期となりました。1年は短すぎ、とてもまだ何かを成し遂げたというではありません。しかし、今まで外から見ていたアメリカを内から見て、またその反対に今まで内から見てきた日本を外から見ることによって、新たな視野が生まれました。その環境の中で、日本人という自分を改めて見つめなおし、物の考え方や価値観、興味など、私自身の中

でいろいろなものが大きく変わりました。そしてこれから自分のしたいことを見つけるきっかけを与えてくれたような気がします。

海外留学というのは、自分の中身が驚くほど成長します。特にこの交換留学というシステムは1年も大学へ行くことができ、しかも一番安く行ける方法で最高のものなので、岐阜大学の皆さんにもっと利用してもらえたううと思います。



短期留学推進制度(派遣)の年間スケジュール

この制度は、大学間交流協定に基づき、外国の大学との間で相互に学生を交換する場合に、下記の「資格及び条件」を満たしている者を、文部科学省に奨学金候補者として推薦する制度です。

「資格及び条件」

- ①派遣する期間は、概ね6か月以上1年以内
- ②短期留学生派遣計画に基づき、派遣先大学が受入れを許可する者
- ③学業成績が優秀で、人格等に優れ、学部長（研究科長）が推薦する者
- ④派遣先大学での専攻は問わないが、留学の目的及び計画が明確で海外への留学により、効果が期待できる者
- ⑤留学期間終了後、本学に戻り学業を継続する者または本学の学位を取得する者

⑥英語圏の留学は、TOEFLスコアレコード173点以上
なお、文部科学省の奨学生として不採択になった場合でも私費により留学することができ、授業料の相互免除と一定数の単位互換が認められています。

年間スケジュール

9月中旬	各学部・研究科の学務係・大学院係へ短期留学推進制度に基づく派遣留学生候補者の推薦を依頼（各学部等では、掲示などで学生に周知）
11月上旬	派遣留学生候補者を留学生課に推薦
11月中旬	留学生交流専門委員会で派遣留学生候補者を選考
1月中旬	派遣先大学へ受入れ可否の照会
2月下旬～3月上旬	派遣先大学の受入れ許可書及び関係書類を文部科学省に申請 文部科学省から、奨学金支給割当人数の決定及び派遣留学生の決定
※ 派遣先大学等は、「学生便覧」を参照してください。	

短期留学推進制度(受入)の年間スケジュール

この制度は、日本の大学が大学間交流協定に基づき、外国の大学から、短期間、留学生を受け入れる場合、当該留学生を支援するもので、本学で受け入れる留学生に対し、支援を受ける資格及び条件を満たしている者を奨学金候補者として推薦しています。

受入期間：概ね6か月以上1年以内

年間スケジュール

- 9月下旬 外国の学術交流協定大学へ短期留学推進制度に基づく留学生の受入計画を通知

10月下旬 11月中旬・12月上旬	学術交流協定大学から受入留学生候補者の推薦 留学生交流専門委員会で受入留学生候補者を選考
12月上旬	財団法人日本国際教育協会へ短期留学生受入計画を申請
1月下旬	財団法人日本国際教育協会から奨学金支給割当人数の決定通知 受入留学生候補者を推薦した学術交流協定大学へ受入学部及び奨学金支給割当人数等の通知
2月中旬	財団法人日本国際教育協会へ短期留学生候補者を推薦
3月中旬	財団法人日本国際教育協会から短期留学生の採用通知

学術交流協定締結

(平成12.12.1現在)

■大学間協定 (21大学)

大 学 名	国 名	協定締結日	大 学 名	国 名	協定締結日
カンピーナス大学	ブラジル	1984. 8.27	サント・トマス大学	フィリピン	1994. 6.14
サンディエゴ・ステイト大学	米 国	1985. 5. 7	グリフィス大学	オーストラリア	1995. 3. 3
浙江大学	中 国	1986. 4.21	ユタ大学	米 国	1997. 5.28
広西大学	中 国	1986. 4.24	ユタ州立大学	米 国	1997. 5.29
電子科技大学	中 国	1986. 7.21	ハノイ工科大学	ベトナム	1998. 6.26
無錫轻工大学	中 国	1986. 9. 3	ウェストバージニア大学	米 国	1998.12.16
浙江医科大学	中 国	1987. 4.22	カセサート大学	タ イ	1999. 8. 5
中国医科大学	中 国	1987. 8.15	アバティダンディー大学	英 国	2000. 6.28
ルンド大学	スウェーデン	1987. 9.12	内蒙古農業大学	中 国	2000. 8. 8
ノーザンケンタッキー大学	米 国	1990.10. 1	シドニー工科大学	オーストラリア	2000. 8.14
ソウル産業大学	韓 国	1992. 3.19			

■部局間協定 (4機関)

大学・学部等名	国名	協定締結日	協定部局	大学・学部等名	国名	協定締結日	協定部局
チエラロンコン大学 理 学 部	タイ	1994. 3. 5	農学部	コンケン大学 農 学 部	タイ	2000. 3.27	農学部
慶北大学 農 科 大 学	韓 国	1998.12.21	農学部	コンケン大学 学部間共同開発研究所	タイ	2000. 3.27	農学部

国際交流状況について

1. 岐阜大学外国人研究者受入数

(H12.12.1現在)

学部等区分	教育学部	地域科学部	医学部	工学部	農学部	その他	合 計
私 費	0	3	4 (3)	1	5 (2)	0	13 (5)
委任経理金 そ の 他	0	0	1	4 (1)	4 (1)	1	10 (2)
合 計	0	3	5 (3)	5 (1)	9 (3)	1	23 (7)

1か月以上本学に滞在し、岐阜大学外国人研究者受入れ規則に基づき、受入れを承認された外国人研究者をいう。

() 内は、女子を内数で示す。

2. 岐阜大学外国人研究者などの訪問数 (1か月未満) (平成11年度)

学部等区分	教育学部	地域科学部	医学部	工学部	農学部	その他	合 計
合 計	3	0	38	16	28	63	148

1. 以外で、本学に短期間滞在した外国人研究者等をいう。

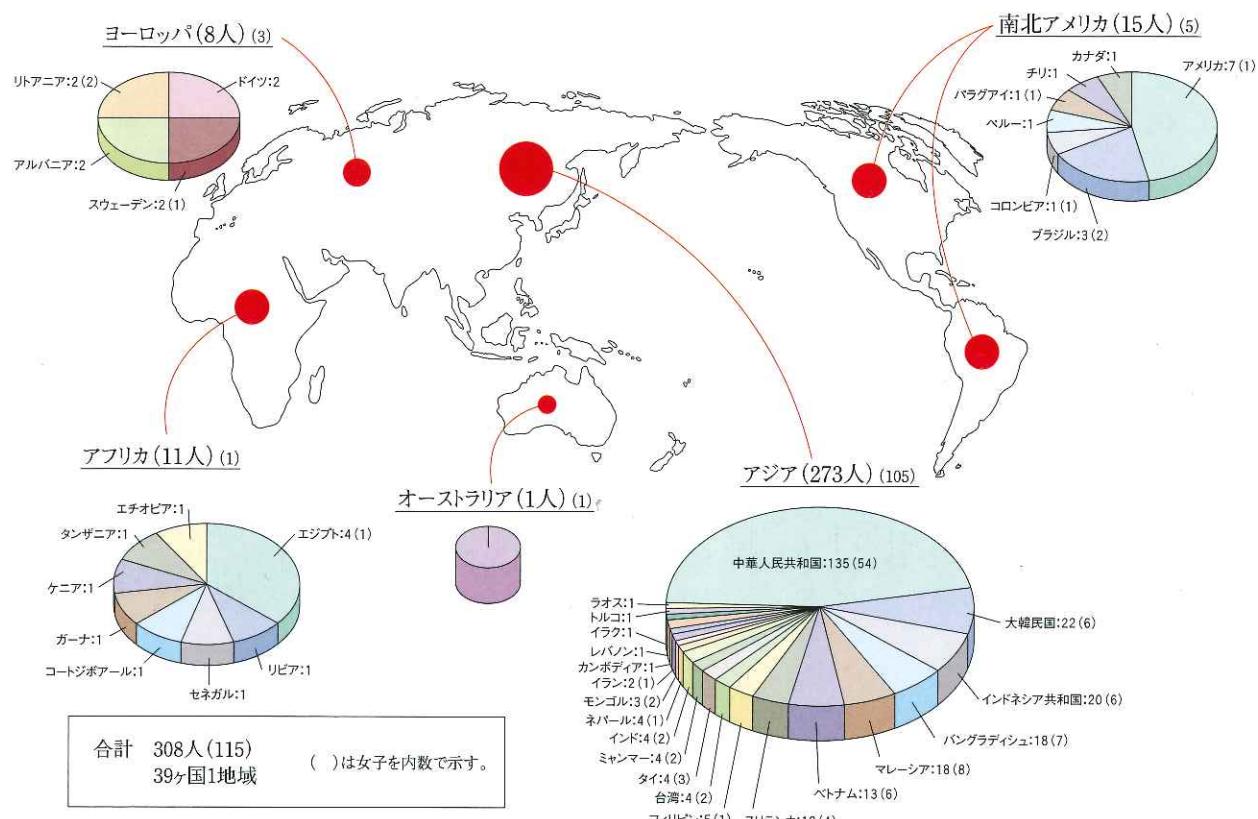
3. 岐阜大学教職員海外渡航者数 (平成11年度)

学部等区分	教育学部	地域科学部	医学部	工学部	農学部	その他	合 計
出 張	19	10	54	180	52	20	335
研 修	10	9	42	20	7	44	132
合 計	29	19	96	200	59	64	467

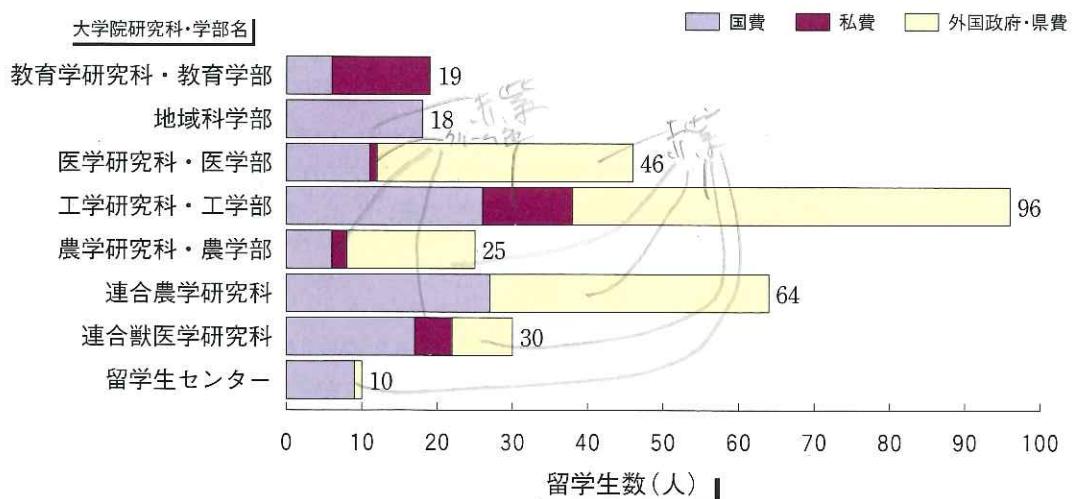
(私事・休職渡航を除く。)

岐阜大学国別外国人留学生数

(2000年12月1日現在)



外国人留学生数 (経費別)



国際交流奨学寄附金協力団体等一覧

(平成12年12月現在)

イ　ビ　デ　ン　株　式　会　社	岐　阜　プ　ラ　ス　チ　ック　工　業　株　式　会　社
医　療　法　人　東　山　会　長　良　川　病　院	ク　ロ　レ　ラ　岐　阜　販　売　株　式　会　社
株　式　会　社　市　川　工　務　店	コ　ー　テ　ツ　ク　株　式　会　社
株　式　会　社　工　ヌ　テ　ツ　ク	国　際　ソ　ロ　プ　チ　ミ　ス　ト　岐　阜　金　会　社
株　式　会　社　大　垣　共　立　銀　行	財　團　法　人　井　上　国　際　交　流　基　金
株　式　会　社　K　V　K	財　團　法　人　田　口　福　寿　会
株　式　会　社　後　藤　瞬　卵　場	サ　ン　メ　ツ　セ　株　式　会　社
株　式　会　社　十　六　銀　行	昭　和　コン　クリ　ート　工　業　株　式　会　社
株　式　会　社　ス　ギ　ヤ　マ　メ　カ　レ　ト　ロ	大　日　コ　ン　サ　ル　タ　ン　ト　株　式　会　社
株　式　会　社　太　陽　建　設　コン　サ　ル　タ　ン　ト	大　日　本　土　木　株　式　会　社
株　式　会　社　ノ　一　ベ　ル	太　平　洋　工　業　株　式　会　社
株　式　会　社　文　溪　堂	中　部　電　力　株　式　会　社　岐　阜　支　社
河　合　石　灰　工　業　株　式　会　社	東　海　旅　客　鐵　道　株　式　会　社
岐　阜　瓦　斯　株　式　会　社	日　本　耐　酸　壩　工　業　株　式　会　社
岐　阜　県　信　用　農　業　協　同　組　合　連　合　会	ハ　一　ト　ラ　ン　ス　株　式　会　社
岐　阜　県　農　業　協　同　組　合　中　央　会	ハ　パ　イ　オ　ニ　ア　貿　易　株　式　会　社
岐　阜　車　体　工　業　株　式　会　社	長　谷　虎　紡　績　株　式　会　社
岐　阜　信　用　金　庫	矢　橋　工　業　株　式　会　社
岐　阜　精　機　工　業　株　式　会　社	有　限　会　社　東　海　蜂　蜜　社
岐　阜　乘　合　自　動　車　株　式　会　社	ユ　ニ　オ　ン　テ　ツ　ク　株　式　会

これまで上記の企業団体から、奨学寄附金のご協力をいただきました。誌上を借りて、厚くお礼申し上げます。

(50音順、敬称略)

◆編集後記

岐阜大学国際交流委員会発行のニュースレター26号をお届けいたします。

本誌の目的は、岐阜大学における国際交流を学内・学外の皆さんに知っていただき、今後もその活動の活性化を期することです。本号では、特に本学学生の留学に対する意識を喚起するために、留学体験記の他、文部科学省からの奨学金を受領して留学する短期留学推進制度の紹介も掲載しました。少しでも留学に関心のある学生諸君は、このスケジュールを参考にして、TOEFL受験や留学先大学の決定など「具体的な」準備を始めてはいかがでしょうか。留学に関する詳細は『学生便覧』に掲載されていますが、何か不明な点などがある場合は、各学部学務係・大学院系、もしくは学生部留学生課に問い合わせてください。

今年度、岐阜大学は、アバティ・ダンディー大学（英国）・内モンゴル農業大学（中国）・シドニー工科大学（オーストラリア）の三大学と新たに学術交流協定を結びました。さらにヨーロッパやアジアの大学との協定が検討されています。拡張の方向性を維持しつつ、交流の質的な向上も目指すことが私たちの願いです。本学構成員の積極的な参加と、皆さんのご支援をお願いいたします。

事務局：研究協力課国際交流室（Tel058-293-2011、Fax058-293-2022、
E-mail:kokusais@cc.gifu-u.ac.jp、ホームページ：<http://www.gifu-u.ac.jp/>）

編集者：学術交流専門委員会：杉野直樹（地域科学部）

留学生交流専門委員会：愛木豊彦（教育学部）、宮谷敦美（留学生センター）

事務局：高木吉郎（研究協力課）、黒田広子（研究協力課）

荒木淨子（留学生課）、森勉（留学生課）